

停戦及び人質交渉に関するG7首脳声明(仮訳)

我々G7首脳は、イスラエルとハマスとの間で成立した停戦合意を完全に承認し、支持する。

これは、残る全ての人質の解放を確保し、緊急に必要な人道支援を更に促進し、市民が彼らの故郷や彼らの生活に帰還し再建する道筋をつける可能性を秘める重要な進展である。我々は、これらの交渉の仲介における、エジプト、カタール及び米国のたゆまぬ努力に感謝するとともに、全ての当事者に対し、合意の条件を尊重するよう呼びかける。我々はまた、全ての当事者に対し、この合意の完全な履行と敵対行為の恒久的な終結を確実にするため、合意の今後の段階を交渉するに当たって建設的に関与するよう要請する。

我々は、2023年10月7日にイスラエルに対して行われたハマスによる組織的なテロ攻撃を引き続き断固として非難する。我々は、その残虐な攻撃によって、またそれ以降に失われた何万人もの命、そしてパレスチナ人とイスラエル人の甚大な苦難を悼む。

我々は、イランとその代理勢力に、イスラエルに対する更なる攻撃を抑えるよう求める。我々は、こうした脅威に直面するイスラエルの安全に対する支持を再確認する。

停戦が間もなく実現する中、状況が悪化し続けているガザの壊滅的な人道状況に終止符を打つため、この機会を捉えることも極めて重要である。

我々は、全ての当事者に対し、人道支援の安全で、迅速で、妨げられない通過を可能にし、人道支援に従事する者を含む市民の保護を確保することを求める。国際人道法は尊重されなければならない。我々は、国際社会の支援を得て、ガザにおける人道支援を提供し続け、早期の復旧及び復興への取組を開始するという我々のコミットメントを改めて表明する。

我々は、イスラエル人とパレスチナ人が平和、尊厳及び安全のうちに共存する二国間解決につながる、和平に向けた信頼できる道筋への我々の支持を再確認する。